

「みんなで作る安心住まいプロジェクト」活動報告③

地域課題と向き合う、学生たちの新たな一歩！

プレゼンテーション 令和8年8月29日(土)

一般公開で、報道機関の取材も入る中、約3か月間の集大成として、学生たちが考案したリノベーションプランのプレゼンテーションならびに評価者による審査・表彰式が行われました。

◆プレゼンテーション・質疑応答

熱気あふれるプラン発表



専門家からの質疑



質問に答える学生



これまでの現地調査やブラッシュアップでのアドバイスを踏まえ、さらに練り上げられた**最終プラン**を発表しました。高齢者、障害者、子育て世帯などの**要配慮者に向けた**、安価で魅力的な空家リノベーションの、**具体的かつ実現性の高い**アイデアが飛び出しました。

◆受賞作品(みんプロ大賞)

みんプロ大賞「おじゃまします」



表彰式の様子



プレゼンテーション



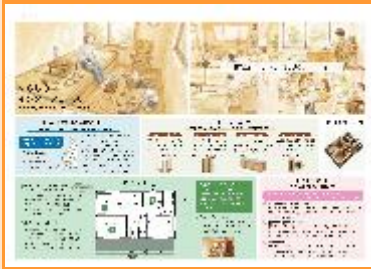
どの班の提案も非常に素晴らしく、審査にはとても苦労しましたが、最終的には満場一致で高評価を得た2班の「**おじゃまします**」がみんプロ大賞に選ばれました。専門家の方からは、『**土間のある住まいは**、生活面や働き方など**多様化するニーズに多彩に対応**する可能性が魅力。**要配慮者の豊かな暮らし方を提案するプランであり、改修コストにも配慮した実現性の高いプラン。**』との素晴らしい評価を得ました。

◆受賞作品(建築部門・福祉部門・不動産部門)

建築部門
「寄り合い暮らし」



福祉部門
「暮らしのインターフェース」



不動産部門「家族の時間を
生み出す若年層世帯の住まい」



建築部門・福祉部門・不動産部門のそれぞれの賞も表彰されました。

◆専門家からの講評と学生へのメッセージ

亀屋 恵三子 アドバイザー



岡部 真智子 アドバイザー



国土交通省 真鍋 健也 住宅調整官



アドバイザーのおふたりからは、**3か月間**頑張った学生の皆さんへの**ねぎらい**と、本プロジェクトに協力していただいた**関係する実務者**の方々への**感謝の言葉**が送られました。

また、国土交通省の真鍋住宅調整官からは、学生のプランの素晴らしさを称えとともに、国が推進している**省エネの視点**を持って計画することで、学生の皆さんが心配していたヒートショックは解決することや、昨年度改正・公表した『**高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準**』がバリアフリーの考え方の参考になる、といったアドバイスをいただきました。

稲田副市長は、「今日はとても**素晴らしい会**だった。学生の皆さんの発表から気付かされることがいろいろあった。今後の**居住支援**や**空家の流通促進**、**福祉政策**に生かしていきたい。」とあいさつしました。



今後の予定

次回は10月末にプレゼンテーションシートの提出です。最後の仕上げを頑張ってください。

7月:ブラッシュアップ

8月:プレゼンテーション

10月:最終報告書の提出

みんなでつくる安心住まいプロジェクト事務局(豊橋市建設部住宅課)
✉zyutaku@city.toyohashi.lg.jp ☎0532-51-2596